

TOGIX2019

「探検・発見・ほっとけん～新時代の幕開け新しい風を～」

団体名●金沢星稜大学 STAR ☆ ACT / 代表者名●中村日春(経済学部経営学科 3年)

はじめに

金沢星稜大学 STAR ☆ ACT の活動目的は、以下の通りである。第一に、地域主導により、地域特有の地域資源の継承を促進させる。第二に、学生主導により、主体性・責任感を持って行い、学生自身が創造性を身につける。第三に、廃校施設の有効活用において、学生ならではの発想を実現していくことで、新たな廃校施設活用の手法を我々が生み出し、社会に発信することで他地域での応用を試みる。

当該活動を通して、参加した学生は地域課題の解決に向けて課題解決能力やコミュニケーション力を得ることができ、地域住民は地域資源の再評価と活用を通して地域への愛着や誇りを醸成する機会となり、協働による持続的な地域づくりを実践できる。2019年度に実施した TOGIX は、「～新時代の幕開け新しい風を～」をテーマとし、関係人口構築のための廃校を拠点とした交流事業を実施した。

2019年度におけるスターアクトの活動内容

STAR ☆ ACT では「課題の発見」「提案」「実践」を軸に、石川県志賀町西海地区にある廃校施設を拠点に持続的な地域づくりを目的とした取り組みを2016年度より実践しており、地域主導と学生主導の2本柱により事業計画・実施している。地域資源の有用性を発見するため、PDCA サイクルによる評価を行いつつ、年に一度の交流事業を展開している。

STAR ☆ ACT が中心となって行う活動としては、当該プロジェクトの計画策定段階から評価段階までの一連の活動プロセスと体験型観光プログラムの計画・運営である。体験型観光プログラムとして、釣り体験、ぶどう狩り体験、増穂浦海岸で採れる桜貝を用いたアクセサリ制作体験、また地元食材を使用した手ぶらでBBQ など多くのアクティビティを実施した。今年度は新たに、能登酒フェスという能登地方の酒蔵9つの日本酒を飲み比べてくる酒フェスも同時開催している。各アクティビティにおける定員上限の拡充、また通信販売の実施など新たな挑戦として学生側が主体性と責任感を持って事業が実施された。

定員上限の拡充、また通信販売の実施など新たな挑戦として学生側が主体性と責任感を持って事業が実施された。

スターアクトの活動成果

今年度の成果として、多くの企業に協力を得ることができたのが成果の一つである。新たな企画であった「能登酒フェス」においては9つの能登の酒蔵からの協力が得られ、プロジェクトの知名度向上にも繋がる結果となった。またスギヨファームやてらおか風舎をはじめとした地元企業にも引き続き協力を得ることができた。また、来場者アンケート調査の結果から、プロジェクトに対する満足度が高かったことが分かり、計画策定段階からの、企画の見直しや改善を行ったことが結果につながったのではないかと考える。さらに、新たな企画であった能登酒フェスでは地域住民からの支持も得られ、新たな地域資源の発見に繋がったことも良い評価が得られた要因であると考えられる。

他方、広報活動としては、チラシ作成や SNS、テレビでの情報発信はもちろん、今年は新たにラジオ放送や CSR 活動に取り組んでいる地域企業への宣伝も行った。その結果、今年は家族連れだけでなく、幅広い年齢層の来場者が認められた。

今後の課題、展望

今後の課題として、当該団体における学生メンバーの確保である。年々プロジェクトも成長し地域からの認知度も高まっているが、それを企画・運営するマンパワーの確保が急務である。



写真 2019年度「廃校であそぼう」スタッフ